

KG REPORT

2020 冬号

ケージー レポート

第127期中間 株主通信

2020年4月1日から2020年9月30日まで



米国・シリコンバレー

Kanematsu Story

IT企業の聖地、シリコンバレー。

大企業からスタートアップまで数々のIT企業が集うシリコンバレー。兼松は1985年に支店を開設し、以来35年にわたり米国西海岸の電子・デバイス部門の拠点として、事業を展開してきました。世界的なIT産業の中心地に拠点を持つ強みを活かし、既存ビジネスに加えて、新規ビジネスの創出を進めています。



世界的な難局を乗り越え、 次なる成長を目指します。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年3月期第2四半期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が続く中で、各国共に過去最大の落ち込みに直面しました。

そのような中、兼松グループの当第2四半期連結業績は、当第1四半期から続く新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり需要の高まりを受け、農産油脂取引や畜産事業などで増収となった一方、魚粉など副原料相場下落の影響を受けた飼料取引、緊急事態宣言に伴う外出自粛などにより需要減退の影響を受けたエネルギー事業などで減収となりました。また、官公庁向け航空機部品取引が順調な航空宇宙事業や、大豆相場上昇などにより堅調だった食糧事業などで増益となった一方、外出自粛や営業時間短縮により来店者数が減少したモバイル事業や相場

下落の影響を受けた畜産事業、油価下落により引合いが減少している油井管事業などで減益となりました。その結果、前年同期比減収減益となり、収益は3,049億円、営業活動に係る利益は100億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は59億円となりました。

財政状態については、利益剰余金の積上げなどにより、親会社の所有者に帰属する持分(自己資本)は1,344億円まで増加しました。その結果、自己資本比率は25.7%、ネット有利子負債資本倍率(ネットDER)は0.3倍と、健全な水準を維持しております。

配当については、当社は株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題と認識しており、将来の成長投資のための適正な内部留保とのバランスを考慮しながら、業績に裏付けられた利益配分を行うことを基本としております。中間配当は、新型コロナウイルス感染症拡大や不安定な経済環境という特殊な状況を考慮した上で、安定的かつ継続的な配当を実施するという経営判断により、期初公表どおり1株当たり30円とさせていただきました。期末配当予想は30円、中間配当と合わせた年間配当予想は1株当たり60円と、期初公表見通しを据え置きとしており、これにより配当性向は38.5%となります。

中期ビジョン「future 135」は当期末で前半3年が終わり折返しを迎えます。引き続き、効果的かつ適切な事業投資による規模拡大と付加価値の獲得を追求するとともに、AIやIoTなど技術革新をビジネスチャンスとすべく新規事業の推進に取り組み、目標達成に向け邁進して参ります。

株主の皆さまには、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

事業
創造

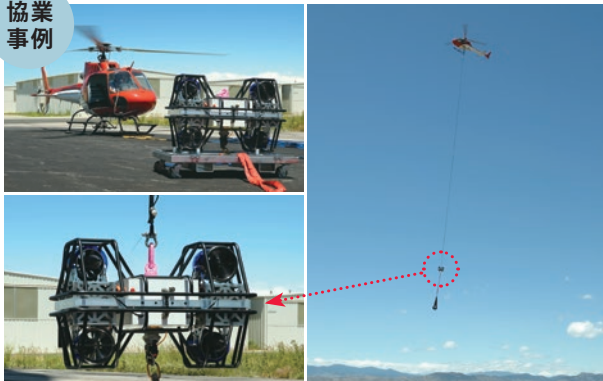
先進技術や新ビジネスの創出

スタートアップとの協業

兼松は、先進技術の発掘や新ビジネスの創出を目的に、2018年にKanematsu Ventures Inc. (KGV)を米国シリコンバレーに設立し、スタートアップとの協業を進めています。同社は、兼松の「先進技術・事業連携チーム」と連携し、部門横断でのグループシナジーの拡大を図るとともに、現地ベンチャーキャピタル(VC)Allegis Cyber社傘下のファンドへの参画、早稲田大学発VCであるWERU INVESTMENT社との提携を通じ、北米を中心に世界各地でネットワークを広げ、新規事業の創出に取り組んでいます。兼松は、技術革新に素早く対応し、事業創造とイノベーション投資を推進することで、中期ビジョン「future 135」で掲げている「効果的な事業投資による規模の拡大や付加価値の獲得」を追求していきます。

Kanematsu Ventures Inc. (KGV) 概要

- 設立：2018年7月
- 所在地：米国シリコンバレー
- 事業概要：ファンドへの投資参画、先進技術・ビジネスモデルの発掘、スタートアップ企業の成長支援

協業
事例

VITA Inclinata社の回転防止装置

VITA Inclinata社

ヘリコプターが吊す貨物や救護器具の 回転防止装置の開発

兼松の現業ビジネスでの資産を上手くスタートアップに提供できる事例として、2019年に出資した米VITA Inclinata社との協業が挙げられます。同社は、ヘリコプターが吊す貨物や救護器具の回転防止装置を開発し、救護活動などでヘリが運ぶ人やモノが風にあおられて急速に回転してしまう問題の解決を目指します。兼松の官公庁向けヘリコプタービジネスや、防衛向け救難機案件での経験から、人命救助や災害現場での苦痛を解決する打ち手と判断し、協業に向けた対話を重ね、出資に至っています。

協業を進めているスタートアップとその事業

iNAGO(カナダ) 人工知能(AI)による自然言語理解の技術開発など

Skyports(イギリス) 空飛ぶクルマの離発着場の設営・運営など

BONX(日本) ヘッドセットとスマートフォンを連携させたシステムの開発など ●P5

社会
貢献

新型コロナウイルス 感染症関連の取り組み

グループ会社 ● カネヨウ株式会社

医療従事者用防護服25万枚を納入

カネヨウは、厚生労働省より医療従事者用の防護服25万枚を受注し、6月に納品を完了しました。問い合わせを受けてから、中国関連工場と密接な連絡をとり、縫製工場や原材料確保の確認に迅速に動き、受注につなげることができました。輸入に際しては、中国の天津港税関で約1カ月もストップする予期せぬトラブルもありましたが、それを乗り越え、関係省庁・機関の連携により、輸入通関は優先通関・免税扱いでスムーズに完了。5月末に東京を除く46道府県に5万枚を、6月末には政府備蓄用の20万枚を納品することができました。カネヨウは、今後も「健康・快適・環境」をテーマとした生活関連専門商社として、継続的に社会に貢献することを目指します。

グループ会社 ● 兼松コミュニケーションズ株式会社

1 医療機関支援 スマートフォンとデータSIMの無償貸与

兼松コミュニケーションズは、新型コロナウイルス対応に追われる医療機関を支援するため、スマートフォン端末とデータSIM回線の無償貸与を行いました。これは、2019年より資本提携を行っている株式会社BONXの取組



(株)BONXの音声グループコミュニケーションアプリと専用デバイス

み(コロナ禍が収束するまで、医療機関向けに音声グループコミュニケーションアプリと専用デバイスを無償貸与)に賛同し、自社のネットワークを活かして利用環境の提供を行ったものです。

2 聴覚障がい者支援 「しゃべり描き®アプリ Biz」を無償提供

マスク着用の常態化により、手話に加えて唇の動きや表情から情報を収集していた聴覚障がい者のコミュニケーションが難しくなっています。この問題を解決するため、兼松コミュニケーションズは、2019年より提供している、話した言葉を指でなぞった軌跡に表示する「しゃべり描き®アプリ」の法人利用を想定し改良した「しゃべり描き®アプリ Biz」を聴覚障がい者支援団体などへ無償で提供しました。



アプリ使用イメージ

(単位:百万円)

	前第2四半期 2019年4月 1日- 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月 1日- 2020年9月30日
収益	356,955	304,879
営業活動に係る利益	14,698	9,970
税引前四半期利益	14,220	9,582
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	7,810	5,874
基本的1株当たり 四半期利益(円)	93.53	70.34
営業活動による キャッシュ・フロー	12,977	20,366
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,177	△3,645
財務活動による キャッシュ・フロー	△16,780	△22,539
現金及び現金同等物の 四半期末残高	79,645	85,009

	前期末 2020年3月31日	当第2四半期末 2020年9月30日
資産合計	551,671	522,039
資本合計	166,174	169,882
親会社の所有者に帰属する 持分 ^{※1}	130,829	134,419
Point 親会社所有者帰属 持分比率(%) ^{※2}	23.7	25.7
ネット有利子負債 ^{※3}	51,807	42,604
ネットDER(倍) ^{※4}	0.4	0.3

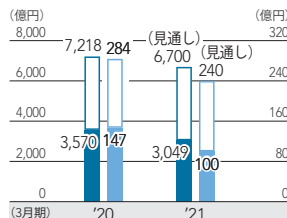
Point

親会社所有者帰属持分比率(自己資本比率)

利益剰余金の増加等により、親会社の所有者に帰属する持分が36億円増加し、親会社所有者帰属持分比率は上昇しました。

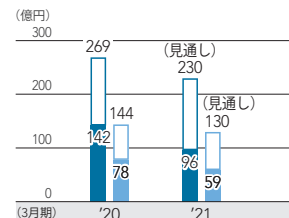
収益/営業活動に係る利益

収益(左軸) □ 通期 ■ 第2四半期
営業活動に係る利益(右軸) □ 通期 ■ 第2四半期



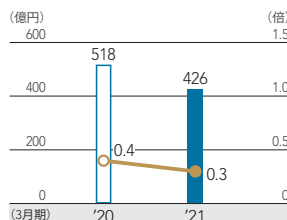
**税引前四半期利益/
親会社の所有者に帰属する四半期利益**

税引前四半期利益 □ 通期 ■ 第2四半期
親会社の所有者に帰属する □ 通期 ■ 第2四半期
四半期利益



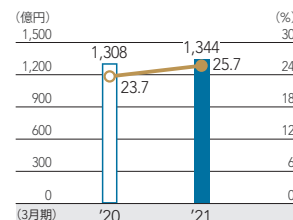
ネット有利子負債^{※3}/ネットDER^{※4}

ネット有利子負債(左軸) □ 期末 ■ 第2四半期末
ネットDER(右軸) ○ 期末 ● 第2四半期末



自己資本^{※1}/自己資本比率^{※2}

自己資本(左軸) □ 期末 ■ 第2四半期末
自己資本比率(右軸) ○ 期末 ● 第2四半期末



1株当たり配当金(円)

2020年3月期	
中間配当	30.0
期末配当	30.0
年間配当	60.0
2021年3月期	
中間配当	30.0
期末配当(予想)	30.0
年間配当(予想)	60.0

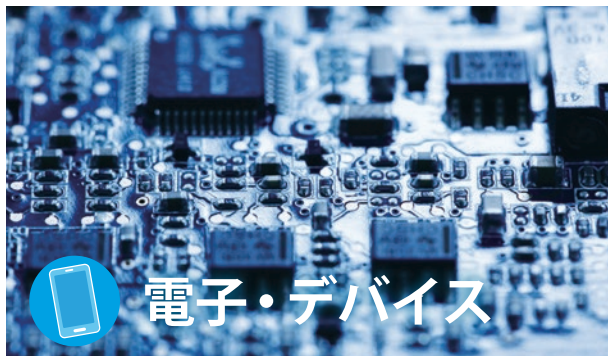
(注) 当社は国際会計基準(IFRS)を適用しています。

- ※1 親会社の所有者に帰属する持分=自己資本
- ※2 親会社所有者帰属持分比率=自己資本比率(=自己資本/総資産)
- ※3 ネット有利子負債は、リース負債を除いた社債および借入金の合計額から現預金を差し引いた額
- ※4 ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

2021年3月期の見通し(2020年10月30日修正)

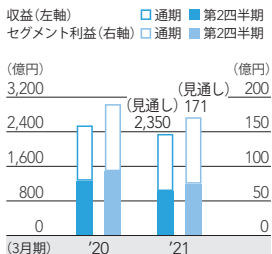
収益	6,700億円
営業活動に係る利益	240億円
税引前利益	230億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	130億円

事業別概況



電子・デバイス

収益 [前年同期比]
1,029億円 △18.8%
 セグメント利益* [前年同期比]
75億円 △19.7%



主要事業

- 半導体装置
- 電子部品・材料
- 電子機器
- 半導体・デバイス
- ICTソリューション
- モバイル
- CCTVシステム

主要グループ会社

- 兼松エレクトロニクス
- 兼松コミュニケーションズ
- 兼松サステック
- 兼松フューチャーテックソリューションズ
- 兼松アドバンスド・マテリアルズ
- ジー・プリンテック

ICTソリューション事業などは堅調、 モバイル事業は低調

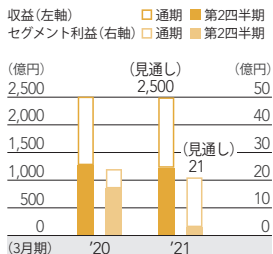
当第2四半期においては、ICTソリューション事業は、製造業などで投資の先送りがありました。堅調に推移しました。半導体部品・製造装置事業は、新型コロナウイルスの影響により延期となっていた中国向け装置の出荷が再開し、堅調に推移しました。モバイル事業は、営業時間短縮による来店者数の減少に加え、料金引き下げ期待や新機種発売前の買い控えなどにより低調に推移しました。

* セグメント利益=営業活動に係る利益



食料

収益 [前年同期比]
1,229億円 △3.6%
 セグメント利益* [前年同期比]
3億円 △80.6%



主要事業

- 食品原料(農産・水産・飲料等)
- 調理工加工食品
- 畜産
- 穀物・食品大豆・油糧種子
- 飼料
- 農産加工品

主要グループ会社

- 兼松新東亜食品
- 兼松アグリテック
- 兼松ソイテック
- Kanemory Food Service
- KAI Enterprises
- KG Agri Products

食糧事業は順調、 食品事業・畜産事業は苦戦

当第2四半期においては、食糧事業は、内食需要の高まりを受け大豆・米などの農産油脂取引が牽引し、大豆相場上昇の影響も受けたことにより、順調に推移しました。食品事業・畜産事業は、内食需要を取り込み、食品スーパー向け取引は堅調に推移したものの、外出自粛などの影響により外食向け需要回復が鈍く苦戦、加えて畜産事業においては相場下落の影響もあり、低調に推移しました。

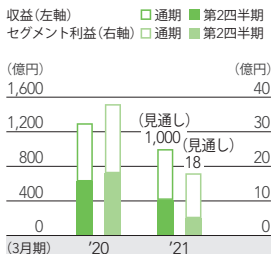
事業別概況



鉄鋼・素材・プラント

収益 [前年同期比]
412億円 △34.2%

セグメント利益* [前年同期比]
5億円 △74.5%



主要事業

- 鉄鋼
- 油井管
- 化学品
- エネルギー
- プラント・船舶
- 工作機械・産業機械

主要グループ会社

- Steel Service Oilfield Tubular
- Benoit Premium Threading
- 兼松トレーディング
- 兼松ベトロ
- 兼松ケミカル
- 兼松ケージーケー

エネルギー、化学品事業は堅調、 鉄鋼、工作機械・産業機械、油井管事業は低調

当第2四半期においては、エネルギー事業は、原油価格の下落や新型コロナウイルスの影響による需要減少の影響を受けたものの、国内石油製品取引の採算良化などもあり減収増益、化学品事業も医薬品取引を中心に堅調に推移しました。一方、鉄鋼事業、工作機械・産業機械事業は、新型コロナウイルスの影響などにより低調に推移し、油井管事業も油価下落による掘削需要低迷の影響を大きく受けました。

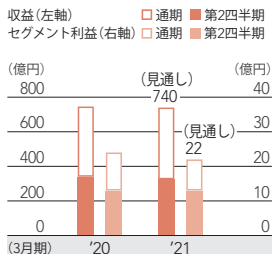
* セグメント利益＝営業活動に係る利益



車両・航空

収益 [前年同期比]
325億円 △4.2%

セグメント利益* [前年同期比]
13億円 +0.2%



主要事業

- 車両・車載部品
- 航空宇宙

主要グループ会社

- 兼松エアロスペース
- カネヨウ
- 新東亜交易
- KG Aircraft Rotables

航空宇宙事業は順調、 車両・車載部品事業は低調

当セグメントは、高い専門知識と豊富な情報量を駆使して、自動車・二輪車・関連部品事業を世界規模で展開しています。また、産業車両や建設機械などの貿易取引や、航空機・航空機部品、衛星・宇宙関連製品ビジネスも行っています。当第2四半期においては、航空宇宙事業は、主力である官公庁向け航空機部品取引が順調に推移しました。車両・車載部品事業は、世界的な需要減少の影響が継続しました。

会社情報 (2020年9月30日現在)

会社概要

社名	兼松株式会社
英文社名	KANEMATSU CORPORATION
創業	明治22年(1889年)8月15日
設立	大正7年(1918年)3月18日
本店	神戸市中央区伊藤町119番地
本社	東京都港区芝浦1丁目2番1号
資本金	27,781,141,350円
従業員数	連結7,359名(内、出向者を含む単体814名)

役員

取締役および監査役

代表取締役会長	下嶋 政幸
代表取締役社長	谷川 薫
取締役	宮部 佳也
取締役	薦野 哲郎
取締役	田原 祐子
取締役	田中 一弘
監査役(常勤)	村尾 哲朗
監査役(常勤)	平井 基壽
監査役	宮地 主
監査役	倉橋 雄作

執行役員

社長	谷川 薫
専務執行役員	宮部 佳也
専務執行役員	本下 俊秀
常務執行役員	菅 栄治
上席執行役員	濱崎 雅幸
上席執行役員	原田 雅弘
上席執行役員	田中 一生
上席執行役員	薦野 哲郎
執行役員	小泉 浩一
執行役員	城所 僚一
執行役員	岩田 修
執行役員	山科 裕司
執行役員	村松 陽一郎
執行役員	中嶋 潤
執行役員	橋本 徹
執行役員	西村 浩一

- (注) 1. 取締役 田原祐子、田中一弘の両氏は社外取締役であります。
 2. 監査役 宮地主、倉橋雄作の両氏は社外監査役であります。
 3. 田原祐子、田中一弘、宮地主、倉橋雄作の各氏は、
 (株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

株式データ (2020年9月30日現在)

株式の状況

発行済株式の総数(自己株式259,618株を含む)	84,500,202株
株主数	18,859名

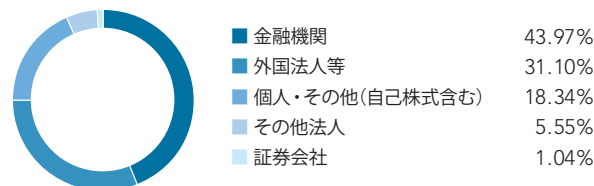
大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	11,442	13.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,327	7.51
東京海上日動火災保険株式会社	2,322	2.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	2,129	2.52
MSIP CLIENT SECURITIES	2,126	2.52
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,868	2.21
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	1,541	1.82
ジェービー モルガン チェース バンク 385781	1,472	1.74
株式会社三菱UFJ銀行	1,417	1.68
農林中央金庫	1,249	1.48

(注) 持株比率は自己株式(259,618株)を控除して計算しております。

株式の分布状況

所有者別



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告による 公告をすることができない場合は、東京都におい て発行する日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載のホームページアドレス https://www.kanematsu.co.jp
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京(証券コード:8020)

【住所変更等諸手続のお申し出先について】

最近、株主さま宛の郵送物が宛先不明で返送されてくるケースが増えております。現在お届けいただいておりますご氏名(法人の場合は商号および代表者名)・ご住所等に変更がありましたら、お手数ですが**株主さまの口座のある証券会社等**にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

